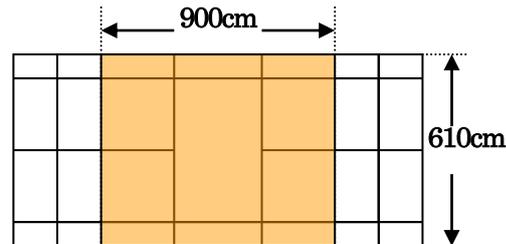


# 少年少女ミニバレー大会ルール

## 1. 施設と用具

バドミントン用コート・ネット・ポールを使用し、コートの広さはサイドライン900cm×エンドライン610cm、ネットの高さは155cmとします。



## 2. ボール

ボールは、ミニバレー専用ボールを使用します。

## 3. チームの構成

チームは最大6名のプレーヤーと1名の監督で構成し、ゲームは1チーム4名のプレーヤーで行います。

### \* 監督

(チーム内に監督を登録する事が出来ます。ただし登録してもしなくても構わない)

- (1) 監督はチームの行為や言動に責任をもつ
- (2) 監督は、プレー中タイムアウトやメンバーチェンジを副審に告げて行う事ができる。
- (3) 監督はタイムアウト中のみチームに対してアドバイスを与え、アドバイスはコートの外から行い、コートの中には入れません。
- (4) 監督は複数チームの兼任ができます。
- (5) 監督は18歳以上の保護者等です。

## 4. ゲーム 全日本ミニバレーオフィシャルルールに準ずる。一部大会特別ルール採用

今大会予選は、1セット11点先取の3セットマッチ、ラリーポイント制で行い、2セット先取したチームを勝ちとします。

10対10になった場合も11点を先取したチームを勝ちとします。

男子決勝トーナメント・女子決勝トーナメントはサーブ権のあるチームに得点が入る方式で行います。但し3セット目はラリーポイント制とします。

### (1) プレーヤーの位置

- ① プレー開始時のプレーヤーの位置は、前衛左、前衛右、後衛左、後衛右とし、サーブが打たれるまでこのポジションを崩してはなりません。
- ② 2セット目及び3セット目の開始前に、主審に告げてシフト・(メンバー)を組み合わせることができます。
- ③ 両チームのキャプテンは主審の指示にしたがって、トスによりサーブ権かコート選択権の

いずれかを決めます。

- (1) サーブはサイドラインの延長線内で、エンドラインの後方から1本だけ打つことができます。サーブ権が継続している場合同一プレイヤーが続けて行います。
- (2) サーブ権を得たチームはローテーション後、後衛右に位置したプレイヤーがサーブを行います。
- (3) ボールを相手コートに返すため、最大3回までプレーすることができます。
- (4) ボールは、手または腰から上であればどこでもプレーすることが可能です。
- (5) チームはボールがデットの時、各セットごとに2回までタイムアウトをとることができます。1回のタイムアウトの時間は、30秒以内とします。
- (6) ゲーム中のプレイヤーの交代は、ボールがデットの時副審に告げて行います。登録されたプレイヤーであれば何回でも交代することができます。ただし、サーブのみ行う交代はできません。

## 5. 反則

### (1) オーバータイムス

相手コートにボールを打ち返すための、プレー回数が3回を超えた場合。

### (2) オーバーネット

相手コートにあるボールに、ネットを越えてふれた場合。

### (3) タッチネット

インプレー中に、プレイヤーの身体の一部または衣服がネットにふれた場合。

### (4) ドリブル

1度ボールにふれたプレイヤーが、続けてボールにふれた場合。

ただし、ボールがネットにふれた場合は再び同じプレイヤーがプレーできます。

### (5) ホールディング

ボールをすくいあげたり、つかんだり、運んだりした場合。

### (6) バイオレーション

サーブされたボールが、完全にネットを通過しないうちにレシーバー側がボールにふれた場合

- ❖ サーブに対してダイレクトでアタック・ブロックすることは可能ですが、ボールが完全にネットを通過してからでないとは反則になります。

### (7) アウトオブバウンズ

サーブしたボールが、ネットにふれたり、コート外に落ちた場合。

また、ボールがネット上を通過しなかった場合。

身体の一部が隣のコートまたはとなりのコートのサイドライン想像延長線上に入った場合。

### (8) アウトオブポジション

サーブが打たれたとき、プレイヤーの前後左右の位置関係が違っていた場合。

サーブ順をまちがった時

### (9) フットフォールト

サーブを打つときラインを踏んだり、踏み越した場合。